

教育部会

子どもの帰村には慎重な判断を要することから、学校の在り方については住民の帰村意向により判断すべきとし、当面は現状の教育環境を充実させる方向で検討しました。

部会提案方針

- ・子ども達の学びの環境の一層の充実を図ります
- ・子ども達の自立に向けた、充実した教育活動を行います
- ・子ども達に文化や経験を伝達するための新たな工夫をします
- ・保護者に対する支援を充実します
- ・子ども達を核とした、地域コミュニティの形成を図ります
- ・各施策の実施について、今後中長期的な検討を進めます

部会提案施策(一部)

- ・スクールバスの弾力的運用・機能向上
- ・ふるさと教育の充実
- ・土曜日や長期休暇等を活用した学習の充実
- ・子育て支援の充実
- ・伝統行事・伝統芸能の維持・継承

部会提案を受けての主な村実施施策の例

- ・子どもの健康管理と体力の向上
- ・保護者や村民によるふるさと教育支援組織づくり
- ・伝統行事、伝統芸能の維持継承の支援
- ・屋内運動施設の整備検討

暮らし部会

生活環境整備や日常生活サービスの確保、地域コミュニティの維持について、村が整備や行政支援を行うと共に、村民が仕事や地域活動の一環として取り組む方向で検討しました。

部会提案方針

- ・生活再建に向け、包括的な住環境の整備・改善を図ります
- ・住民の力を活用した日常生活サービスの充実と、安心して生活できる環境整備を図ります
- ・新たなつながり構築による地域コミュニティの維持・再生を図ります
- ・高齢者も安心して暮らせるための拠点の整備をします

部会提案施策(一部)

- ・帰村に向けた包括的な相談体制の整備
- ・生活再建に向けた家賃補助等の居住支援制度継続
- ・安全安心のための汚染マップ等の情報提供
- ・生活利便のための、見守り組織の育成・強化

部会提案を受けての主な村実施施策の例

- ・仮設住宅・県借り上げ住宅等家賃補助の継続要望
- ・タブレット端末等を活用した安否確認の仕組み
- ・各種モニタリング実施と情報公開
- ・いいたてホームを拠点とした介護福祉体制の整備

復興計画に、より多くの村民の声を 4つの村民部会で検討・協議

復興計画第5版の策定から、新たに立ち上げられた4つの村民部会。それぞれの部会で検討が行われてきた「現状の避難生活の問題点・今後策」についてお知らせします。各村民部会で検討された内容は、第5版の中で部会提案としてまとめられており、今後の村復興施策に生かされていきます。

部会提案方針

- ・農業再開に必要な放射能対策を推進します
- ・安全・安心な農作物を作付けできる環境を整備します
- ・農業の維持・継承のための取り組みを推進します
- ・自給的農業、元気づくり・生きがい農業を支援します
- ・村内での営農再開及び村外での営農の支援をします

部会提案を受けての主な村実施施策の例

- ・村内実証結果についての情報提供、新品目の検討
- ・営農指導の強化、試験栽培農地の見学研修開催
- ・営農再開支援事業に取り組む組織の設立・運営支援
- ・村外営農再開地での若者・高校生等の就農体験

部会提案方針

- ・保健・福祉サービスと村民活動の中心拠点・サテライト拠点を整備し、サービスネットワークを構築します
- ・拠点での活動体制構築と、保険・福祉サービスの人材、資源の確保を図ります
- ・帰村に向けた生活習慣づくりや帰村の意思決定支援など「今からの準備」に着手をします

部会提案施策(一部)

- ・クリニックを中心にグループホーム・デイケアセンター・サービス付き高齢者住宅等が連携した複合生活拠点となる施設整備
- ・サービス人材の確保、サービス体制の確保
- ・ICT(タブレット端末など)の積極的活用

部会提案を受けての主な村実施施策の例

- ・クリニックを中心とした拠点整備に向けた準備委員会の開催
- ・村民参加型の介護サービスの検討
- ・医療ボランティア関連事業の整備・強化

農地保全・営農再開部会

農業再開に向けて支障となる課題の解決に向け、放射能対策の推進や安全・安心な農作物を作付けできる環境整備等の各種支援について検討しました。

部会提案方針

- ・放射能対策に適した新作物の作付けを支援
- ・作業に当たる人の被ばく量の低減
- ・農業復興の担い手確保を推進
- ・深谷拠点周辺での生きがい農業の支援

50年後、100年後の子ども達のために、今できること。いつかまた、みんなで笑いあいたい。

委員の村民の方が、部会の中で話した言葉です。復興への思いは人それぞれにあります。

村は今後も「村民一人ひとりの復興をめざす」を基本理念に復興へ歩んでいきます。復興計画へのお問い合わせは総務課企画係 ☎ 024-562-4246 まで。

現状の避難生活での問題点を整理し、対応策についての検討をするともに、避難解除に向けて今後必要となる施策について検討しました。

部会提案方針

- ・保健・福祉サービスと村民活動の中心拠点・サテライト拠点を整備し、サービスネットワークを構築します
- ・拠点での活動体制構築と、保険・福祉サービスの人の確保を図ります
- ・帰村に向けた生活習慣づくりや帰村の意思決定支援など「今からの準備」に着手をします